

ジュニアボールルーム・ラテン部門出場

木下将希・片岡まりの組

4月1日（日）～4月5日（木）5日間の
日程でジュニアブラックプールフェスティ
バルに参加しました。

1日目 12/13YEARS BALLROOM

89組中48位

JUNIOR VIENNESE

178組中90位

2日目 12/13YEARS LATIN

85組中73位

JUNIOR SAMBA

160組中91位



ジュブナイルから3回目の参加ですが、年々参加ペアが増えていました。朝の練習時間は、フロア一面選手とコーチ達が手取り足とり確認していました。私たちも、宮岡先生と足の運びなど最終チェック、本番を迎えました。あまりの緊張のため、踊っている時は音が早く感じました。ベストな踊りは出来ましたが2回戦敗退という悔しい結果でした。海外選手たちのレベルは高く、同じ年とは思えない、足のつま先、指先まで表現して、頭から首、背中までしなやかで、かつ真っ直ぐな姿勢で身体の内面からパワーが溢れていました。今後は日常的に会話出来るような語学を学び、海外選手とコミュニケーションをとり、視野を広げたいと思います。(木下 将希)

まず、朝の練習のときにみて思ったのが、練習から自分の体がかえる限界まで腕や足を伸ばして踊っていたということです。また自然に本番で表情がつくれるように練習から表情を作っていたのも印象的でした。本番では、圧倒するような踊りのスピード、迫力がみられました。フロアに出て来た時点で、「自分が一番！」というオーラを出して、周りによれない感じがありました。踊りは変に力が入ってなくて、軽く、余

裕があるようにみえました。首を限界まで伸ばし、また、他の選手にぶつからずに、自分達だけの踊りを見せようと、周りにも気を配っていました。ステップはあまりハデではなく、ベーシックを基本としていましたが、足をきれいに使い、スピードをだして踊っていました。決めるときはピタッととまり、動くところはスピードがでていて、みていて音の強弱がすごく伝わってきました。もちろん審査員にもですが、観客にもアピールをしていたのも印象的でした。(片岡 まりの)

沢山の方々に支えられて行けたからこそ、良い思い出になりました。私たちにとってかけがえのない5日間になりました。新たな目標を持ち、今回の経験を自分たちの成長につなげていきます。この度は、応援ありがとうございました。